

1 滋賀次世代文化芸術センターが支援する「文化芸術連携授業」



美術館や文化ホールなどの文化施設や芸術家や専門家等と連携し、本物の文化芸術に触れる、創造する体験プログラム=「文化芸術連携授業」を支援しています。学校や教師の希望する学習内容に合った体験授業となるよう、センターでは講師となる文化施設の学芸員や芸術家と学校をつなぎ、双方の意向を聞きながら、事前の打合せから当日の運営、授業後の振り返りまでをコーディネートします。また、個別に配慮が必要な子どもへの細やかなサポートも心がけています。

2 文化芸術連携授業の特色・大切にしていること

①美術館や文化施設の推薦するプロの芸術家や学芸員など専門家とのネットワーク

子どもたちにとって、本物との出会い、質の高い貴重な体験となるよう、美術館や文化施設の推薦するプロの芸術家や美術館の学芸員などの専門家と連携しています。

②「学習のねらい」に沿った、各学校の希望に応じたオーダーメイドの授業づくり

学校・外部講師・センターの三者が打合せを重ねる中で、各学校の「学習のねらい」を共通理解し、各クラスの子どもの様子や学習環境に沿った、アート体験プログラムと一緒に考えていきます。打合せから当日、振り返りまでコーディネーターが見届けます。

③個別に配慮が必要な子どもへの細やかなサポート

コーディネーターは、講師とともに、子どもたちに寄り添った対応を心がけますので、どのような配慮が必要か、個別対応が必要な場合、別室教室への支援など、打合せの中でご相談ください。

3 文化芸術連携授業 申込から実施までの流れ

- ① 学校からの相談・依頼
- ② 学校とセンターとの打合せ
- ③ 依頼内容に合う文化施設や芸術家など講師の調整
- ④ 学校、講師、センターの三者での打合せ
- ⑤ 学校における事前学習、教材確認など、実施までの準備
- ⑥ 授業実施 講師の補助・子どもの活動支援(個別対応含む)
- ⑦ 振り返り(授業アンケート等)



※連携授業の依頼受付は4月以降先着順となります。

授業希望日の調整のため3か月前を目安にご相談ください。

※参加料は、200円～2,500円程度と素材や内容によって違いますので打合せ時にご相談ください。

4 文化芸術連携授業 体験プログラムの紹介

参加料(焼成費含む)
1,600円～2,500円程の予定

やきものの体験（プログラム例） ●滋賀県立陶芸の森 『つちっこプログラム』

内容：琵琶湖の恵みである信楽の「土」に触れる「信楽焼」「やきもの」をテーマとしたプログラムです。
若手陶芸家の指導と交流の中で、思い入れのある作品作りを目指します。

① 願いを込めたシーサーをつくろう

シーサーのルーツについてクイズ形式の説明を受け、沖縄のシーサーに込めた人々の願いや想いを学びます。その後、陶芸家が作ったシーサーの作品鑑賞をし、実際に作る手順を子どもたちに紹介します。子どもたちは、自分を守ってくれる自分の願いを込めたオリジナルのシーサーを作ります。



② 光と影のかたち、ランプシェードをつくる！

最初にランプシェードの完成作品を紹介し、つくる作品のイメージを広げます。粘土を平らに延ばし、新聞紙を巻いた筒に巻きつけます。筒の内側の光がどのように外に漏れるか、光と影のかたちを想像しながら、穴を開けたり、模様をつけたりして完成させます。



③ 土面に込めた思いを知り、自分の願いを込めた土面をつくろう！

パプアニューギニアの土面（美術館所蔵品）を観賞し、そのデザインに込めた命や自然を守る願いを知り、世界のお面などの写真を見た後、土面の作り方を聞きます。色化粧で模様を描いたり、ハンコ印を押したり、線を彫ったりして、自分の願いや思いを文様に込めた、自分だけの土面に仕上げます。



④ 願いを込めたタヌキをつくろう！

信楽焼のタヌキの八相縁起について話を聞き、タヌキの持ち物にはそれぞれの意味を持っていることを知ります。自分の願いをこめたオリジナルデザインのタヌキに仕上げます。



⑤ 器の上絵の転写紙でデザインしよう

磁器の白い器（マグカップやお皿）を使い、上絵の転写紙（折紙のような釉薬シート）を切り絵をするように切り、器に貼り付けていきます。いろいろな形や色の組み合わせを考えながら、自分の好きなデザインに完成させます。焼成は、陶芸家に焼成をお願いする他に、自宅オーブンで焼く転写紙もあります。



○他にも「縄文土器」「音の出る焼き物『土鈴』」「器や皿」など多数

《新しいプログラム 土の素材を自由に楽しむ体験》

『粘土遊び』～自然と身体も楽しく動かす粘土あそび～

陶芸家と一緒に、土の素材に親しみ、丸めたり、伸ばしたり、高く積んだり、いろいろな形に挑戦！自由な形づくりを親しみながら、自然と身体も楽しく動かしていきます。



参加料(焼成なし)200円

日本文化に触れる体験（プログラム例）●MIHO MUSEUM（ミホ ミュージアム）

内容：日本文化をテーマに、美術作品や伝統文化を題材とした美術館教育プログラムです。

① 「アニメのルーツ？」 国宝『鳥獸戯画』の模写体験

国宝「鳥獸戯画」について話を聞いたあと、全長約 12mの巻物(レプリカ)を広げ、動物たちが躍動する絵巻の世界をじっくり鑑賞します。

その中から好きな場面を選び、水墨を使って模写に挑戦します。完成した作品は巻物に仕上げたり、絵を使った物語づくりへと発展させたりすることができます。

鑑賞作品は、重要文化財「鳥獸人物戯画断簡(甲巻)」(MIHO MUSEUM 所蔵)です。



参加料 300 円

半紙・墨・筆・容器・模写下絵など
模写の教材はすべて用意します

② 「センスな扇子づくり」 関西万博で人気だった「扇子」に絵付け体験 美術品を題材に、扇子にオリジナルデザインの水墨画を描いてみよう！

扇子の歴史や役割について話を聞いたのち、高島市の特産として知られる「高島扇子」などの無地の扇子に、水墨や筆ペンを使って描きます。

鑑賞作品には、伊藤若冲筆の「象と鯨図屏風」や池大雅筆の「猿蟹合戦」など(いずれも MIHO MUSEUM 所蔵)が含まれ、作品を味わいながら、自分だけの表現を扇子に落とし込む時間を楽しむことができます。

参加料 300 円～

1,000 円

本格的な高島扇子を選び
か、簡易な扇子を選びかで
料金が変動します



③ 「型絵染めでオリジナルバッグを作ろう」

芹沢銈介の作品や型絵染めの技法について話を聞いたあと、用意された型絵を使って布バックに好きな模様を染め、オリジナル作品を作ります。バッグだけでなく、ハンカチや T シャツなどにも応用でき、絵が苦手な人でも型を用いることで気軽に制作を楽しめます。

参加料 300 円～500 円
バッグの種類により
変動します



④「お茶の心にふれて 茶道体験、お茶を点ててもてなしの体験」

茶の湯の歴史や精神性について、学芸員や茶道家から話を聞きながら、お茶に込められた奥深い心に触れます。茶道家のお点前を鑑賞し、お茶とお菓子をいただき、茶碗や道具に直接触れながら学ぶことで作法への理解を深めます。

そのうえで実際に自分でお茶を点てる体験もできます。希望に合わせて体験内容を調整でき、さらに陶芸家の指導で抹茶碗や銘々皿を制作したり、保護者を招いて感謝の気持ちを伝える「おもてなしのお茶会」へ発展させたりすることも可能です。



茶道体験 参加料(お茶・お菓子代含む)300円

陶芸 参加料(茶碗や皿の制作)2,000円~2,500円程の予定

⑤「尾形乾山に学ぶ」

江戸時代の陶工・尾形乾山の作品に、料理を盛りつけた写真集『美し(うましうるはし)』(世界的な賞を受賞)を題材に学芸員の話を聞きながら鑑賞します。本物そっくりに再現されたレプリカ作品の色や形をしっかりと味わいながら、乾山のデザインや造形の工夫を探ります。その後は陶芸家の指導を受けて器の成形や絵付けに取り組み、仕上げた器を使って実際に料理を盛り付けたり、その様子を撮影したりする活動へ広げることもできます。



陶芸 参加料(茶碗や皿の制作)
2,000円~2,500円程の予定

音楽体験プログラム (プログラム例) ※美ココロ・プログラムの対象となる子どもたちに実施

◎音楽プログラムは、美ココロ・プログラム(さまざまな障がいを抱えている子どもたちや不登校の子どもたちを対象とした芸術体験支援プログラム)の中で、支援を実施しています。 (※すべて申込先着順となります)

- 連携先 公益財団法人びわ湖芸術文化財団
公益財団法人平和堂財団 等



「打楽器奏者と一緒に楽しい音楽体験」

打楽器奏者の演奏を鑑賞し、楽器を使ったリズム遊びや、自分の体を使ったボディーパーカッションなどを体験します。

「声楽家と一緒に楽しい音楽体験」

声楽家とピアニストのミニコンサートを観賞し、合唱の楽しさを体験します。 ※環境に合わせて体験内容を調整します。

5 2026年度～ アート×ココロ×カラダ 『文化的処方プログラム』

美術館・芸術家・理学療法士のコラボレーションによる新しい体験プログラムが始まります！

「手ぬぐいで身体を動かして、マイ手ぬぐいの絵付け体験」

- ① 手ぬぐいを使って楽しくカラダを動かしてみよう！ (楽しい体操で身体のウォーミングアップ)
- ② 美術品作品やいろいろな形のハンコで、手ぬぐいにデザインしよう！ (絵付けデザイン体験)
- ③ マイ手ぬぐいで、お弁当箱などを包んで、おうちで使ってみよう！ (生活の中に活かす)



参加料
700円

「『粘土遊び』～全身を使った粘土遊びで、ココロもカラダも元気に～」

陶芸家と一緒に、土を丸めたり、伸ばしたり、高く積んだり、いろいろな形に挑戦！素材を親しみながら、自然と身体も楽しく動かしていきます。



参加料
200円

6 美ココロ・プログラム (2013年～継続して実施)

滋賀次世代文化芸術センターは、美ココロ・プログラム(さまざまな障がいを抱えている子どもたちや、不登校の子どもたちを対象とした芸術体験支援プログラム)の中で、美術プログラム、日本文化体験プログラム、音楽プログラム等を支援しています。 (※すべて申込先着順となりますことを、ご了承ください)

体験プログラム相談窓口

滋賀次世代文化芸術センター（中間支援組織）

〒520-0044 大津市京町四丁目3-28 滋賀県厚生会館本館2階

電話番号：077-522-6336 FAX番号：077-526-5033 電子メール：info.bcosapo@silk.ocn.ne.jp